

地域の特性に応じた
店舗の展開

平成13年度から既存の営業店(県内5ヶ所)にローンセンターを設置するなど当行既存店舗の見直しを図り「利用者のニーズ」や「地域の特性」に応じた店舗戦略を展開しております。さらに平成17年度からは資産運用相談機能を強化した店舗の拡大を右記の計画どおり実施いたしました。
当行は多様化する利用者ニーズに的確にお応えできる態勢作りを力を入れてまいります。

- ①湯田支店(山口市) 17年6月開設
 - ②新下関支店(下関市) 17年10月開設
 - ③岩国支店(岩国市) 17年10月開設
 - ④末武支店(下松市) 17年10月開設
 - ⑤宇部支店(宇部市) 17年10月開設
- 以下は今後の開設予定
- ⑥周南地区(桜木支店:18年上期)

多様化する利用者のニーズ
に対応した商品の取扱

多様化する利用者のニーズにお応えするため女性向融資商品(フェミストリー・イマデス・L-POP)をはじめとした、独自商品の開発に力を入れております。当行は預り資産である投資信託・個人年金保険・国債等の取扱について、例えば、当行専用CSRファンド「すいれん」を開設するなど、預金商品同様に重要視しています。結果、平成18年3月末の預り資産残高合計は、目標を上回る586億円の実績となりました。

預り資産残高合計(投資信託・個人年金保険・国債等)

